

日刊大牟田 2016年10月8日(土)

3面

有明高専

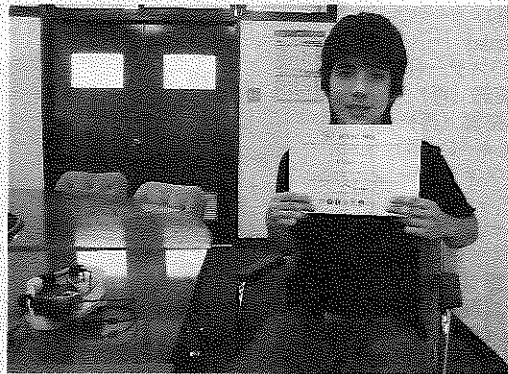
山口さんベストペーパー賞

国際学会発表の論文高評価

有明高専専攻科一年生の山口賢二(よしつぐ)さんが九月にタイであった国際学会で研究成果を論文で発表。ベストペーパー賞を受賞した。

「小型コンピュータを使ったカメラ製作について発表しました。映像を処理するコンピュータプログラムなどが評価を受けたようです」と山口さん。山口さんが発表したのは「ラズベリーパイを用いた後方の人体検出法」。頭部に「ラズベリーパイ」と呼ばれる小型コンピュータとカメラを取り付け、後部を撮影。人体だけを見分けてイヤホンで通知する装置の開発。

山口さんは昨年も別の研究で論文を Postar にして国際学会会場に掲示する Postar セッションでもベスト Postar 賞を受賞していた。今年のベストペーパー賞には日本やタイなどが



賞状と開発品

ら約八十の論文発表のなかから山口さんの論文を含め、十三の論文発表者に贈られた。

指導している菅沼明教授は「人体を画像で判断するのがポイント。将来的には、防犯分野で有効活用が期

待できるのかなと思っていました」と話した。「専攻科一年生のころから続けてきた研究。研究室

内では人体だけを探知していましたが、屋外では道路標識も人体と誤認してしまう。プログラムをつくるのが大変でした。来年三月に卒業し民間企業に就職する予定です。後輩たちが研究を引き継ぎ、発展させてくれればうれしいですね」と山口さん。